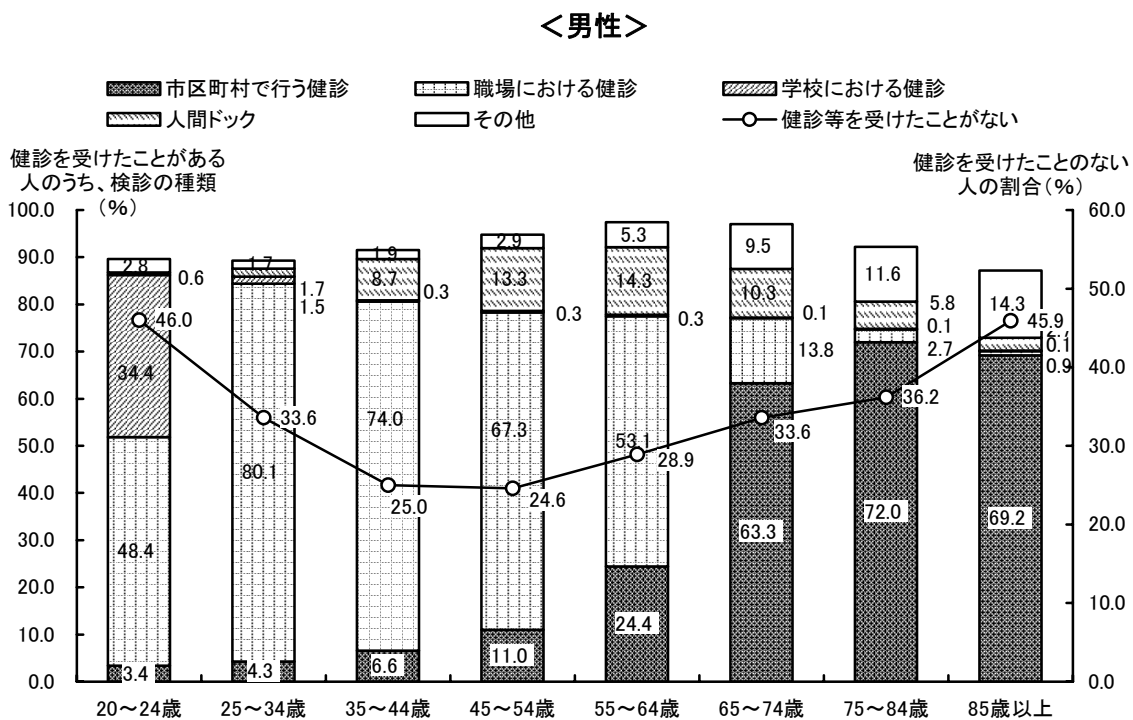
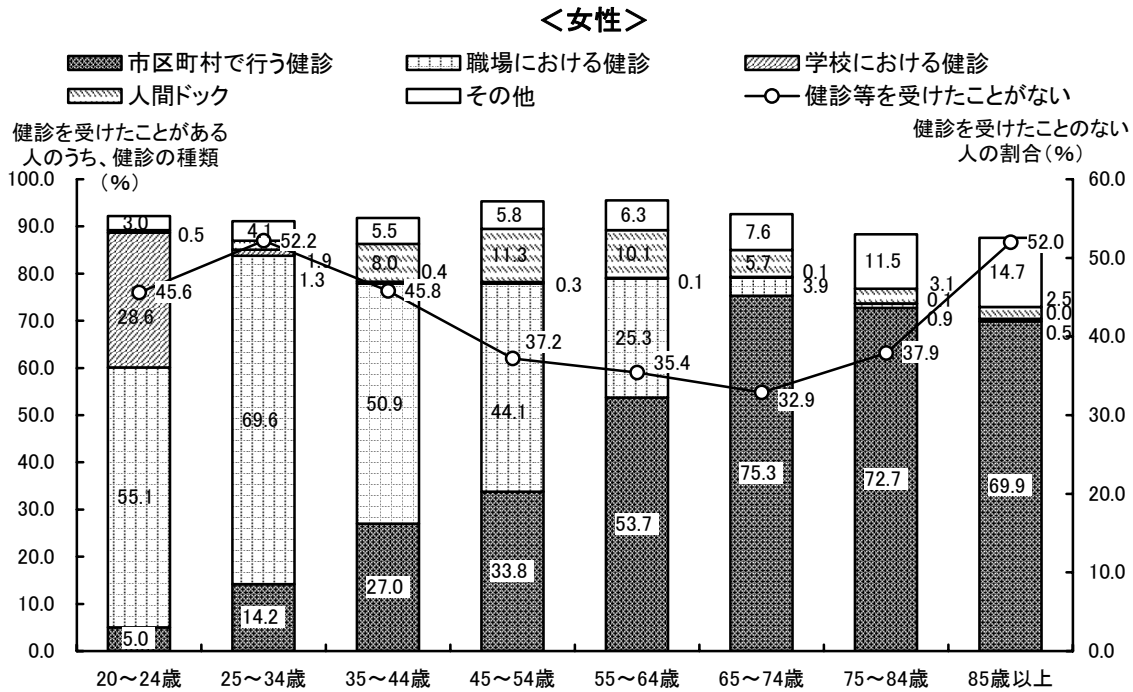


Ⅱ-4 生涯を通じた男女の健康支援

1 年齢階級別健康診断受診率

年齢階級別に健康診断を受けたことのない人の割合をみると、女性では25～34歳、85歳以上が50%を超えており、男性では20～24歳、85歳以上が45%を超えている。

図表 Ⅱ-4-1 年齢階級別健康診断受診率(全国)



注：健診の種類は複数回答

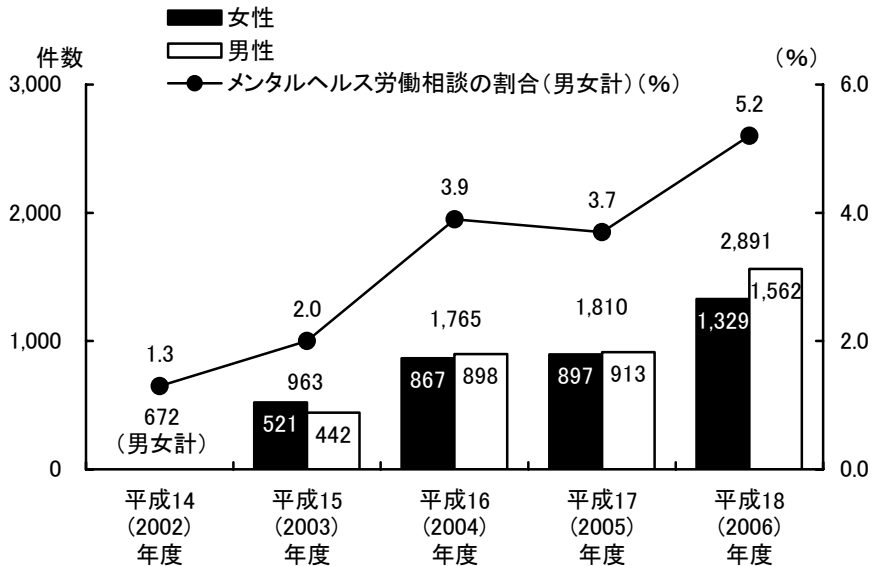
資料：厚生労働省「国民生活基礎調査」平成16年

## II 人権が尊重される社会の形成

### 2 メンタルヘルス労働相談件数

メンタルヘルス労働相談件数は年々増えており、平成18年度は女性1,329件、男性1,562件であり、男女ともに前年に比べ大幅に増加している。

図表 II-4-2 メンタルヘルス労働相談件数(都)



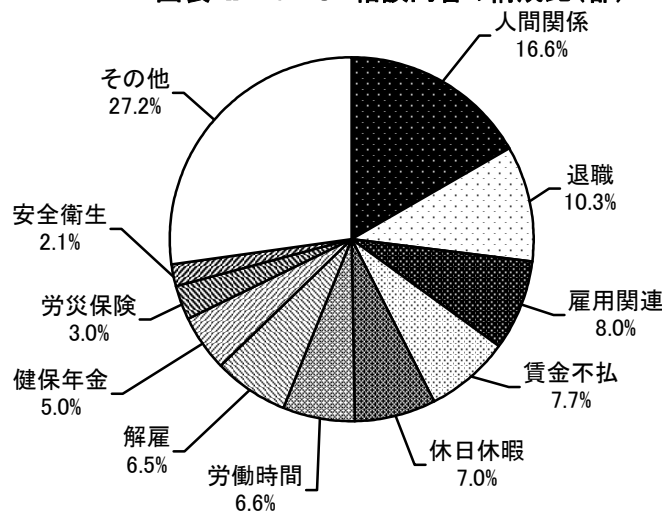
注：労働相談・あっせんの中では、本人自らが「心の問題を抱えている」と話した場合、使用者との調整の中で心の問題が浮かび上がってきた場合のみ「メンタルヘルス」としてカウントしている（相談担当から確認するような行為は、労働相談の円滑な進行を妨げるおそれがあるため）。このため、数値は参考数字である。

資料：東京都産業労働局「労働相談及びあっせんの概要」

### 3 メンタルヘルス労働相談の内容

メンタルヘルス労働相談の内容は、「人間関係」が16.6%と最も多く、次いで「退職」の10.3%、「雇用関連」の8.0%という順になっている。

図表 II-4-3 相談内容の構成比(都)



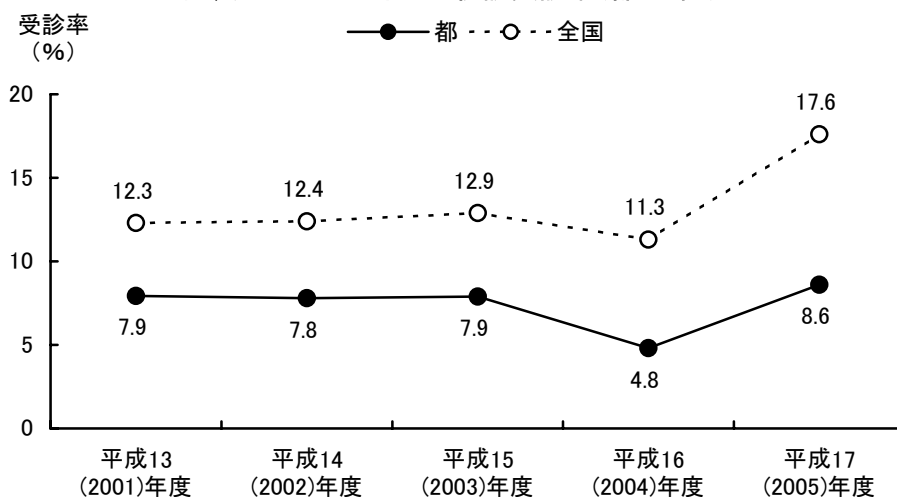
注：調査時期\_平成19年度上半期（平成19年4月1日から同年9月30日まで）

資料：産業労働局「平成19年度上半期の労働相談状況及び街頭労働相談実施結果について」

4 乳がん・子宮がん検診受診率

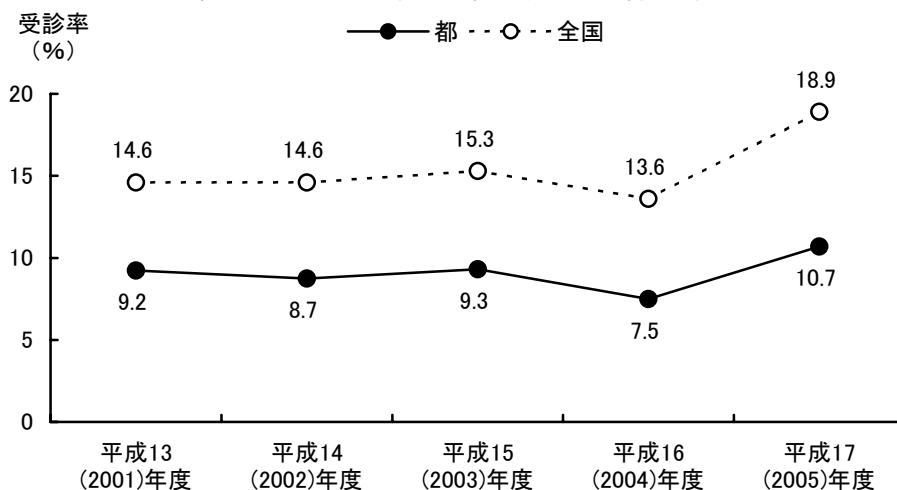
乳がん、子宮がん検診ともに、都の受診率は全国に比べると低くなっている。

図表 Ⅱ-4-4 乳がん検診受診率(都・全国)



- 注1：対象者は平成15年度以前は30歳以上の女性。平成16年度以降は40歳以上の女性。  
 注2：検診項目 問診、並びに視触診及び乳房エックス線検査（マンモグラフィ）  
 注3：受診者数 平成14年度以前 「視触診方式のみ」と「マンモグラフィ併用方式」を合わせた者  
 平成15～17年度 「視触診方式」と「視触診方式及びマンモグラフィ」を合わせた者

図表 Ⅱ-4-5 子宮がん検診受診率(都・全国)



- 注1：対象者は平成15年度以前は30歳以上の女性。平成16年度以降は20歳以上の女性  
 注2：検診項目 問診、視診、子宮頸部の細胞診及び内診とし、必要に応じてコルポスコブ検査。  
 医師が必要と認める者に対しては、子宮体部の細胞診（子宮内膜細胞診）  
 注3：受診者数 平成14年度以前「頸部」。平成15・16年度「頸部のみ」と「頸部及び体部」を合わせた者。  
 平成17年度「頸部」。

注：受診率＝(受診者数／対象者数)×100  
 なお平成18年度「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」の改正に伴い、平成17年度から「乳がん」及び「子宮がん」の受診率の算出方法を変更。  
 受診率＝(前年度の受診者数＋当該年度の受診者数－2年連続の受診者数)／(当該年度の対象者数)×100  
 注：平成19年公表の平成17(2005)年度の数値が最新のデータである。

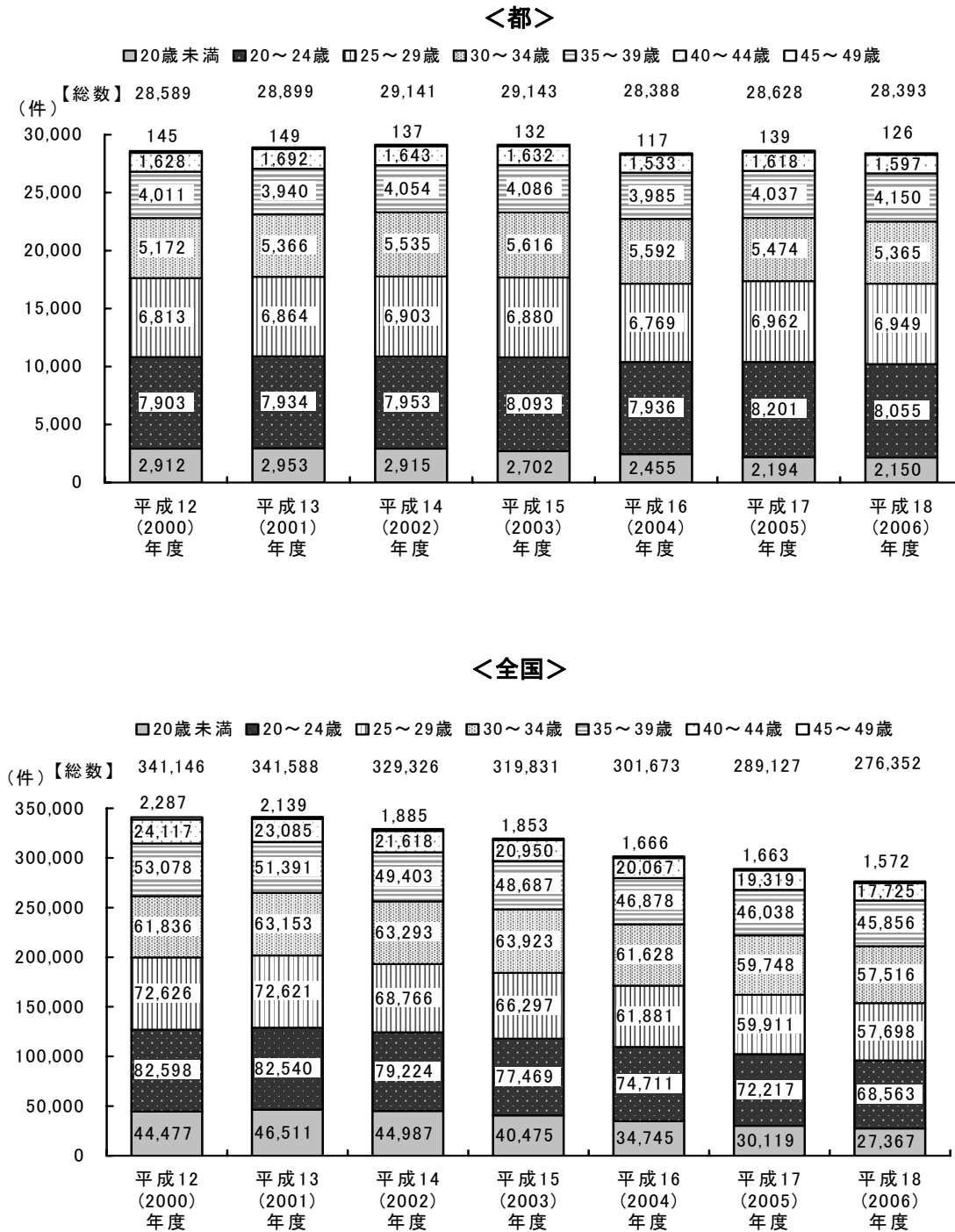
資料：厚生労働省「地域保健・老人保健事業報告」

## II 人権が尊重される社会の形成

### 5 人工妊娠中絶件数の推移

人工妊娠中絶件数は、都では28,000～29,000件台で推移している。なお、全国的には低下傾向にある。

図表 II-4-6 人工妊娠中絶件数の推移(都・全国)



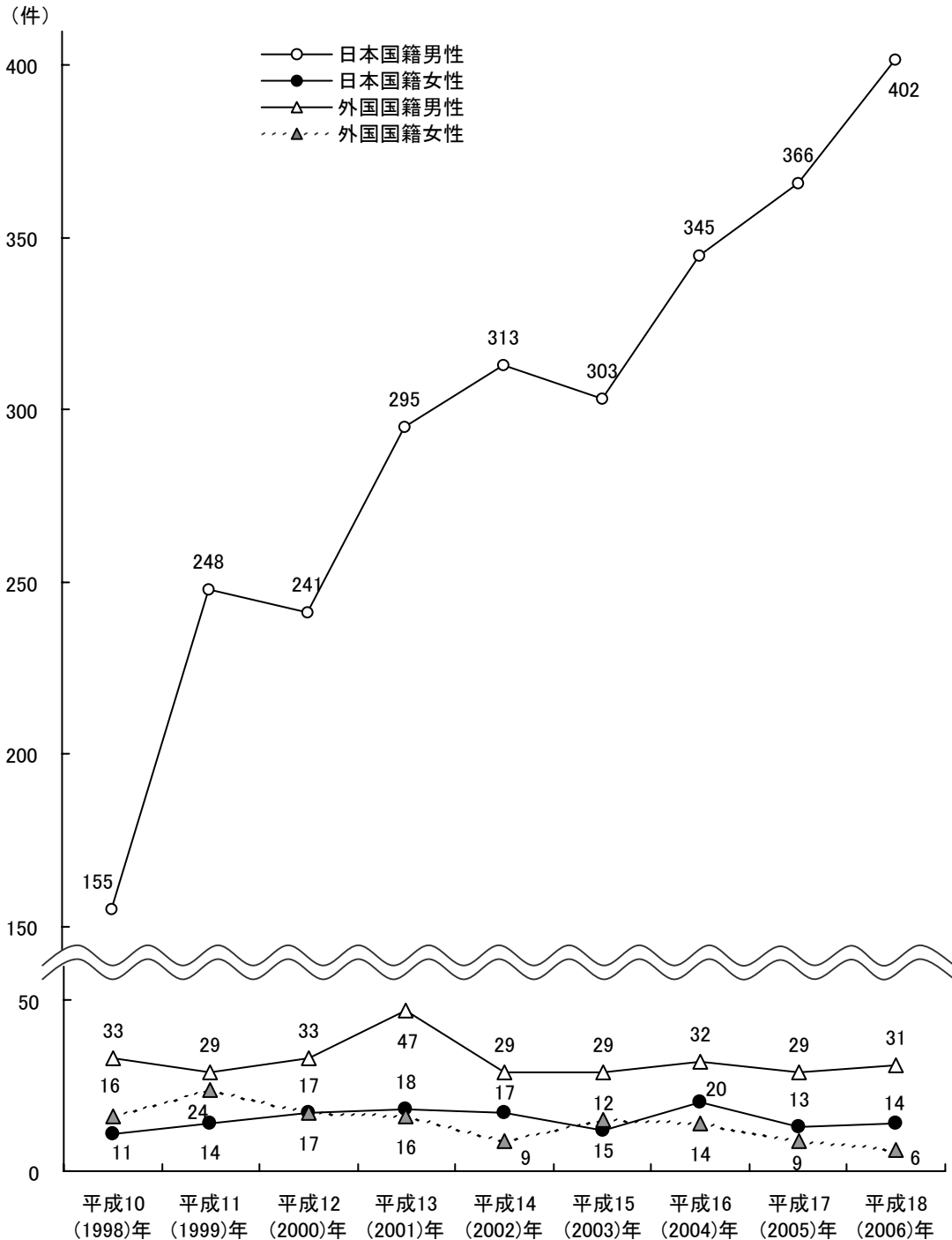
注：最上部の総数には「50歳以上」「年齢不詳」を含む。

資料：厚生労働省「衛生行政報告例」

6 HIV感染者、AIDS患者数

平成18年の都内におけるHIV感染者及びAIDS患者の報告数は、「日本国籍男性」が402件であり、上昇傾向にある。

図表Ⅱ-4-7 HIV感染者とAIDS患者の報告数の推移(都)



注1：HIV感染者とは、HIV（ヒト免疫不全ウイルス）が体内に入り、「感染」した状態になっているが、「発症」していない状態。

注2：AIDS患者とは、HIVにより免疫機能が低下し、「指標疾患」と呼ばれる、決められた疾患の症状が認められた場合。

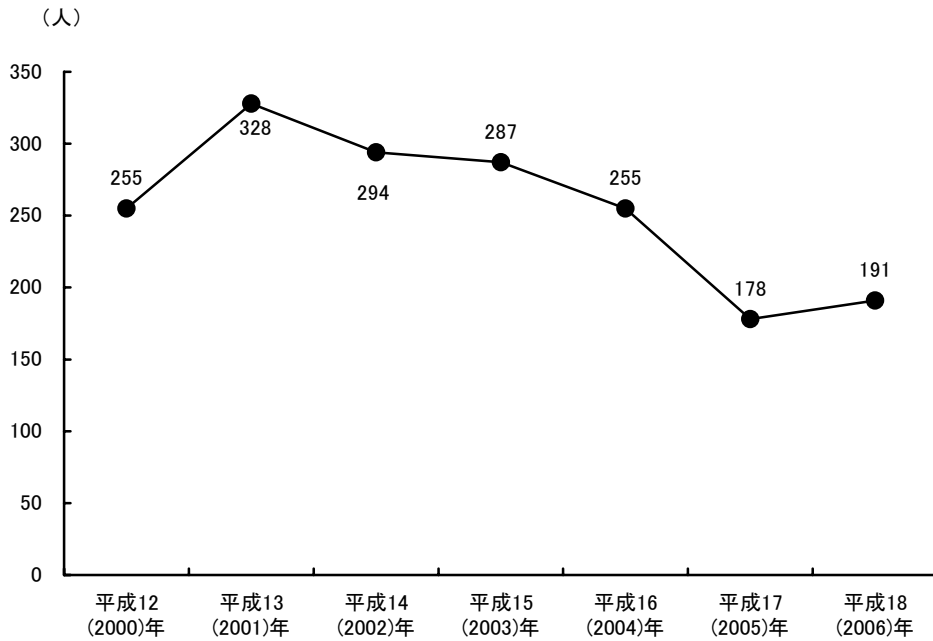
資料：東京都福祉保健局「東京都のHIV感染者・AIDS患者の動向及び検査・相談事業の実績」

## II 人権が尊重される社会の形成

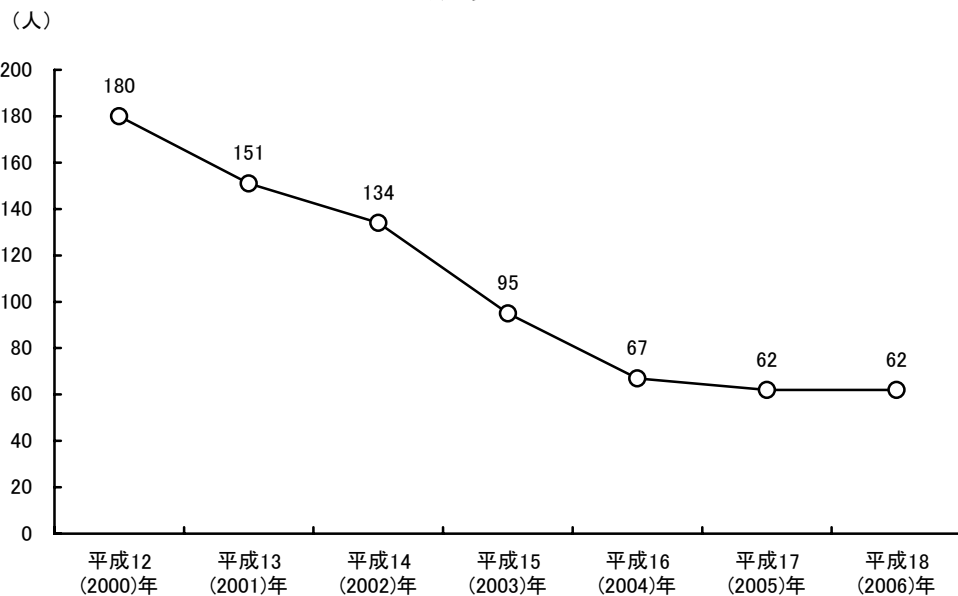
### 7 STI（性感染症）の患者数

平成 18 年の 10～19 歳の性感染症の患者数は女性が 191 人、男性が 62 人である。

図表 II-4-8 STI(性感染症)の患者数の推移(都)  
10～19 歳(女性)



10～19 歳(男性)



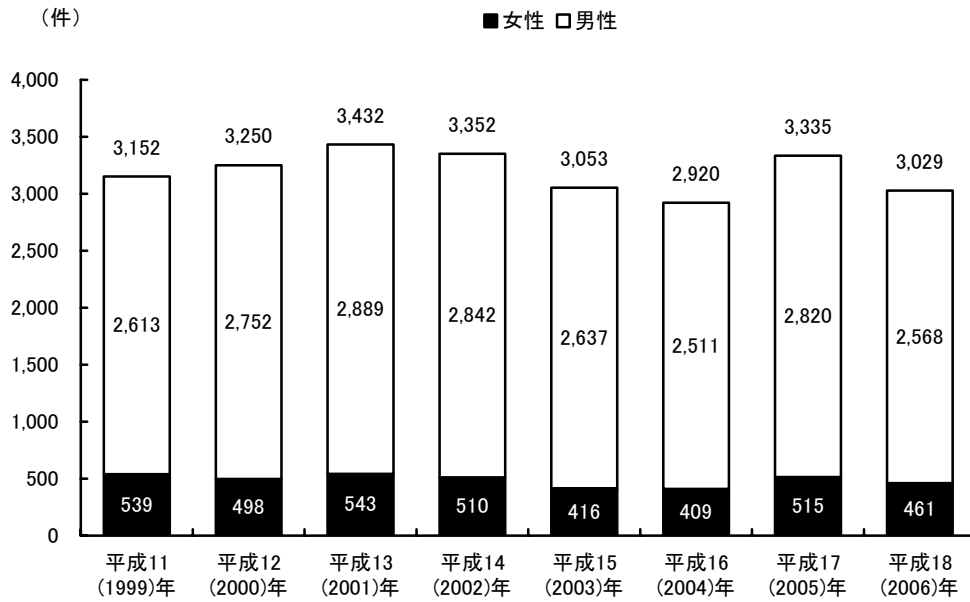
注： STI（性感染症）患者数はここでは性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症、膣トリコモナス症、梅毒様疾患の合計の患者数

資料：東京都福祉保健局「感染症発生動向調査事業報告書」

8 薬物事犯の検挙状況

平成 18 年の薬物事犯の検挙件数は 3,029 件と前年より減少し、女性が 461 件、男性が 2,568 件である。

図表 Ⅱ-4-9 薬物事犯の検挙数(都)



資料：警視庁